

学校教育目標	教育推進の基本	学校経営方針	評価項目	学校としての評価	判定	学校関係者評価
たくましく生きる生徒 (豊かな学力と気力・ 体力の充実した生徒)	基礎・基本の徹底と 生徒個々の特性が 生かされる授業の 推進	生徒一人ひとりに基礎学力を 身につけさせ、身ぶりを育て 協同性を高め、協同性を育て ることにより、確かな学力を育 成する	1. 基礎基本の徹底な定着のための反復学習や 朝学習の推進 2. 少人数指導等の継続と工夫、 学年教職員協力の推進 3. 予習・復習および家庭学習の課題の提示と 事後点検・指導による学習習慣の形成 4. わかる授業の構築と生徒の特性を伸ばす 指導の工夫(授業研究・授業公開・授業参観)	各教科において、基礎基本の定着を図るための指導の 工夫を行いながら授業実践を行った。また、朝の学習や 放課後の補充学習において基本的事項の定着を図る取 組みを行った。放課後の補充学習を実施するにあつ て十分に時間と役割がとれ、面が広がった。 少人数指導やティーム・ティーチング等により生徒一人ひと りの違いを理解し、指導の改善、工夫を行った。90%を こえる生徒・保護者がわかりやすく効果的であると少人数 指導を評価している。 各教科において、計画的に家庭学習ができるような取り 組みを行った。家庭学習の定着など実施しているが、定 着させるための工夫が必要である。 学期に一回、授業公開を全教師が行ない、教科の枠をこ えた交流をすることにより、わかる授業づくりと指導の工夫 に努めた。	B	朝の学習や放課後の補充学習等において基礎基本を 定着させる取組がしっかりと行われており一定の成果が あつたと感じる。今後も基礎基本が定着できるように取組 みを進めたい。 少人数指導を推進している教科(数学・英語)は特に理 解度を高めるために時間と丁寧な指導が必要である。生 徒・保護者と少人数指導を評価しており今後も継続して ほしい。 家庭学習の課題は、各教科間で調整することが大切で あろう。家庭学習は、家庭での指導ワークが高い。学校 の指導は、現状で精一杯ではない。 授業内容はわかりやすく制工夫と工夫されていると回答して いる生徒が大多数であるが、わかりにくい回答している 生徒もいる。この生徒達への指導について、今後検討し ていく必要がある。 楽しい体験活動には、多くの講師や補助員があるのは 仕方ないが、生徒の自主性を養う場になることを望む。 リーダーが育たない原因としては、学校や地域・家庭が 課題を与えていないのではなかろうか。子どもの活動を見 て、自分から進んで取り組もうとする姿勢が思われな い。意図的、無意図的なバランスを考えながら自主性を育 ててほしい。 教職員の危機管理意識を高めて小さな問題も早期発見 し対処することは、予防面においても大切である。今後も 継続して取り組んでほしい。 学校における特別支援教育への取り組みは開明である。 今後、特別支援を必要とする生徒に支障する教員、支役 員をどのようにつけていくか課題は残る。
情操豊かな生徒 (心豊かで、思いやり ある生徒)	体験活動を通して、 豊かな心と自主性の ある生徒の育成	自然や文化を愛し、豊かな感 性や人を思いやる心を育てる	1. 体験的学習を通して主体的に学ぶ力や活力 ある生徒の育成 2. 人権意識や思いやり心の育成といじめ問題 への対応	全体活動(自然、校外学習、キャリア教育、修学旅 行、福祉、体育祭等)と行事をタイムアップし、生徒が生き 生きと活動できるように取り組むことを行った。 教師自身が課題を与えず、自ら課題を見つけて解決 していくという機会が少なかつた。 教育相談活動の充実や学年別調査を行うことにより 生徒の様子や変化について早期発見に努めるよう心がけ た。 教育相談、特別支援教育の充実を図るため、特別支援 員、指導教諭、SC、教育相談担当教員、担任が連携す ることにより組織として機能することができた。特別支援を 必要とする生徒には、STと連携し専門的な対応をするこ とができた。 道徳の時間だけでなく学校生活全体の中であいさつや マナーについて指導することができた。 道徳の年間指導計画のあり方や指導について今後検討 していく必要がある。 道徳資料の整理や教材の工夫、学年の積み上げに取 組んでいく必要がある。	B	生徒・保護者アンケート結果から見ると、学校としての評 価や地域に評価されていると感じる。学校だけでなく、家 庭や学校における日常生活の中で養われるべき道徳教 育が大切であり、家庭・地域における教育力の充実が課 題である。授業としての道徳は、大切にしていきたい。 朝の下駄箱での道徳のチェックやベル着への取り組み は時間の確保という面では有効な取り組みである。継続し て取り組んでほしい。 朝食については起床や就寝時間など基本的な生活習慣 に起因するところはあがるが、食育についても指導をお願 いしたい。 生徒の学校生活(学習や遊び)を通して様々な矛盾回避 能力を身につけるための指導を継続していく必要がある。 教室掲示の工夫や廊下におかれている種々な学習資 源づくりの充実もこれらも努力をお願いしたい。 保護者、地域、教職員の方で学校が落ち着き、安定した 学校運営ができていく。
社会性のある生徒 (みんなに信頼される 生徒)	規範意識の育成と規 律ある集団づくりの 推進	社会で求められる規律を徹底 し、礼儀を重んじる態度を養う	1. 家庭、学校における基本的な生活習慣の確立 (早寝・早起き・朝ごはんなど週刻ゼロ) 2. 安全・安心で落ち着きのある安定した学習 環境の構築 3. 地域の人々や保護者への学校参観の外部評 価システム確立 4. 地域・保護者を交えた積極的な服装規定の見 直し(校則検討委員会)	朝の遅刻を減らすための取り組みを全教員に取り組み することができた。 朝ごはんなど全学年を夕食する生徒が多いため、今後保 護者への啓発活動等実施していく必要がある。 各学年とも掲示物や環境などを行い、学習環境づくり に努めた。 生徒が安全に学校生活を営むように予測回避能力を 身につけるための指導を継続して行う必要がある。 定期的に開催する学校だより、学年通信や学校HPに おいて学校行事などの教育情報を発信し、保護者や地 域の方々の学校参観への参画と理解を得るよう努め た。また、教育の目を中心に学校公開を行った。 服装規定についての生徒の意識は高まってきている。 今後、生徒指導部や生徒会において保護者や生徒に4 つの約束を浸透させる必要がある。	C	生徒・保護者アンケート結果から見ると、学校としての評 価や地域に評価されていると感じる。学校だけでなく、家 庭や学校における日常生活の中で養われるべき道徳教 育が大切であり、家庭・地域における教育力の充実が課 題である。授業としての道徳は、大切にしていきたい。 朝の下駄箱での道徳のチェックやベル着への取り組み は時間の確保という面では有効な取り組みである。継続し て取り組んでほしい。 朝食については起床や就寝時間など基本的な生活習慣 に起因するところはあがるが、食育についても指導をお願 いしたい。 生徒の学校生活(学習や遊び)を通して様々な矛盾回避 能力を身につけるための指導を継続していく必要がある。 教室掲示の工夫や廊下におかれている種々な学習資 源づくりの充実もこれらも努力をお願いしたい。 保護者、地域、教職員の方で学校が落ち着き、安定した 学校運営ができていく。
開かれた 学校づくり	開かれた学校づくり と安全・安心な学習 環境の構築	地域、保護者への情報発信と 連携を深め、開かれた学校づ くりを推進する	1. 地域、保護者を交えた積極的な服装規定の見 直し(校則検討委員会) 2. 地域の人々や保護者への学校参観の外部評 価システム確立	校内研修等を実施し教職員の研修に努めた。 授業の工夫や改善のために、さらに自己研修に努める 必要がある。	B	時代に応じた情報を発信されており、ホームページのア クセス数から見ても効果的である。学校、学年通信等にお いても広く学校の様子や伝えてほしい。 服装については、アンケートの中からも意識が高まっ てきていることが伺える。校則の規定については、生徒、 保護者にさらに周知してもらう方法を検討する必要がある。 民間においては、昨年度と同じ取り組みでは通用しな い。専門職としての研修に努めることは大切である。研修 において、知識や技術だけでなく社会的に認知される 人間性を目指すことも大切にしてほしい。